

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		就労準備型 放課後等デイサービス じぶんいろ		公表日		2026年 3月 10日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	法令で定められたスペースを確保している。	特定の支援室に子どもが集中しないように、目配りと声かけが必要である。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	基準の職員を配置している。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	4	主に3つの支援室があるが、どこで何をするのか、子どもたちに分かりやすく提示している。	現在、手すりはトイレのみの設置であるが、必要に応じて支援室への設置を検討したい。車椅子の利用者はいないが、歩行が不安定な子どもがいるので、バリアフリーを進めたい。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	子どもが帰った後で、トイレ、全ての支援室、パソコン等の清掃、消毒に努めている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	子どもの健康状態や気持ちが不安定な場合のために、安静に過ごしたり、クールダウンしやすいため部屋を設置している。	部屋を個別で使用する場合、子どもから目を離すことなく、随時、様子を見たり、声をかけたりする必要がある。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	週に1回、ミーティングを行い、業務改善に取り組んでいる。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	アンケートの意見を参考に改善に努めている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	週に1回のミーティングで、日常の業務を進める上で共通理解を図らなければいけない内容について、全職員で確認している。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	9		外部評価について、今後実施できるように検討を進める。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	年間当初の研修計画に基づいて、毎月1回、全職員で研修会を行い、情報共有を進めている。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	ホームページ、インスタグラムで公表している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	8	1	アセスメントを行い、保護者との個別面談を経て、個別支援計画を作成している。			
	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	個別支援計画を作成する際には、子どもや保護者の思いや願いについて話を聞いたり、日常の支援や関わりに基づいて、子どもの現在の状況や目標の設定について、全職員で話し合う場を設定したりしている。			
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	2	個別の資料や個別支援計画などを個人別のファイルにつづり、個人の目標や計画にそって支援するようにしている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	アセスメントシートを作成し、課題の抽出、個別支援計画作成の根拠資料として活用している。			
	16	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	保護者面談や、日常の子どもとの関わりを通して、全職員で検討を重ねて支援内容を設定している。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	活動プログラムは、主担当者が中心となり、月単位で、全職員で内容を検討している。	主担当が中心になってプログラムを立案するが、全職員で共通理解をもつことができるように詳細な連絡に努めたい。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	活動プログラムが偏らないように、季節や子どもの興味、関心に関わって、全職員で検討している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	活動内容に応じて、個別活動、集団活動が実施できるように個別支援計画を立案している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	2	日々の支援内容について、事前に活動の流れや役割分担などを確認している。	日常の業務や行事の運営などは、主担当が中心となって進めるが、必要に応じて報告、連絡、相談を密に行いたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	3	当日の振り返りでは、子どもの活動の様子や成果、課題、緊急に共有すべき内容について、全職員で確認するようにしている。	支援の課題については、全職員で支援の内容や方法を見直し、改善を図る。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	2	日々の記録を積み重ねている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	モニタリングを行い、保護者との個別面談を経て支援計画を作成している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	児童発達支援管理責任者が、子どもの在籍校の担当者会議に出席し、学校の職員や放課後等デイサービスの職員、相談事業所の相談員との連携を図っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	0	9		今後、必要に応じて、関係機関と連携していくようにする。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	9		今後、必要に応じて、保育所、幼稚園、特別支援学校幼稚部との連携を行うようにする。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	9		今後、必要に応じて、小学校や特別支援学校小学部との相互理解を図るようにする。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	9		必要に応じて、発達支援センターのスーパーバイズや助言を受けようようにしたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	9		保育所や幼稚園とは活動時間が異なるため、交流は難しい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	1	利用時の子どもの活動の様子や支援内容を、送迎時に口頭で伝えたり、連絡ノートに記述したりして、保護者と連携している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	8	ご家庭と連携した支援をめざし、子どもへの関わり方や支援の仕方を共有できるように努めている。	保護者との信頼関係を築き、相談があったときには共感的な態度で臨むようにする。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時、重要事項説明書を提示して、管理者から保護者に丁寧に説明している。		
36	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	個別支援計画を作成するには、子どもや保護者の思いや願いについて話を聞いたり、日常の支援や関わりに基づいて、子どもの現在の状況や目標の設定について、全職員で話し合う場を設定したりしている。		

保護者への説明等	37	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	9	0	個別支援計画を保護者に示し、現在の子どもの様子について詳しく伝えたと、目標の提案や相談を行うようにしている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	定期的に機会を設定しているわけではないが、連絡帳やLINE、電話などで相談があった場合は、面談して対応を一緒に考えたり情報を共有したりしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	9		今後、保護者からの要望があれば、保護者会の開催を検討する。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	管理者に個別に寄せられた相談や申し入れについては、現状を把握し、全職員で共通理解を図り、できるだけ迅速に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	ホームページ、LINE、インスタグラム等で、日常の様子や各種行事などの活動の報告を、随時行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	写真、動画の取り扱いについては、同意書を提示して、保護者に確認している。個人情報に関わる廃棄書類はシュレッダーを使用している。	連絡帳や配布物などの扱いに留意し、個人情報の保護に努めたい。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	0	9		絵カードなどを早急に準備したい。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0		今後、地域住民との交流を実施できるように検討したい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	各マニュアルを作成し、職員研修会を定期的に行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	策定した業務継続計画にそって、定期的に避難訓練を実施している。	避難訓練については、命を守るための大切な行動であるため、事前指導や振り返りを丁寧に行い、災害時に落ち着いて行動できるようにしたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	2		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	食物アレルギーの子どもの対応については、おやつ持参や調理実習の食材の事前連絡など、保護者と連携して進めている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	安全計画にそって、職員研修を行い、安全管理を徹底している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	ヒヤリハット発生時には、報告書を作成し情報共有をしている。	ヒヤリハット事案について、職員研修会の際に話題にして、同様のミスを繰り返さないように全職員で確認する。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		虐待防止について、職員研修会で話し合い、事例を検討しながら確認している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	1	8		身体拘束が必要な子どもはいないが、今後必要が生じた場合のために、職員研修会で対応を確認するようにしている。	